

流域水循環計画の策定に当たっての基本的な考え方

1

1 諮問

諮問事項	審議事項
流域水循環計画の策定に当たっての基本的な考え方	計画の構成 策定流域の設定 計画の策定順 等

2 審議経過

回	日	審議項目
第1回	令和5年8月29日(火)	流域水循環計画の策定 計画の構成 策定流域の設定 計画の策定順
第2回	令和5年12月5日(火)	策定流域の設定 計画の策定順
第3回	令和6年1月12日(金)	計画の策定順 環境審議会への報告

2

3 審議内容

審議項目	審議内容
(1) 計画の構成	<p>《事務局説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題を整理し理念や将来目指すべき姿を設定 ・健全な水循環の維持・回復に関する目標と施策を記載 <p>《委員意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね事務局案に賛同
(2) 策定流域の設定	<p>《事務局説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一級河川や主要二級河川の水系を基本単位として、地下水や利水の状況等を考慮し、8圏域に区分する案を提示 <p>《委員意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定流域の設定については特段意見なし
(3) 計画の策定順	<p>《事務局説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の現状を示す指標を点数化し、傾向や地域特有の課題を加味して緊急性の高さを評価 <p>《委員意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標を増やし緊急性1位の指標数が多い圏域を緊急性の高い圏域と評価する方法が良い(2つの方法を比較検討)

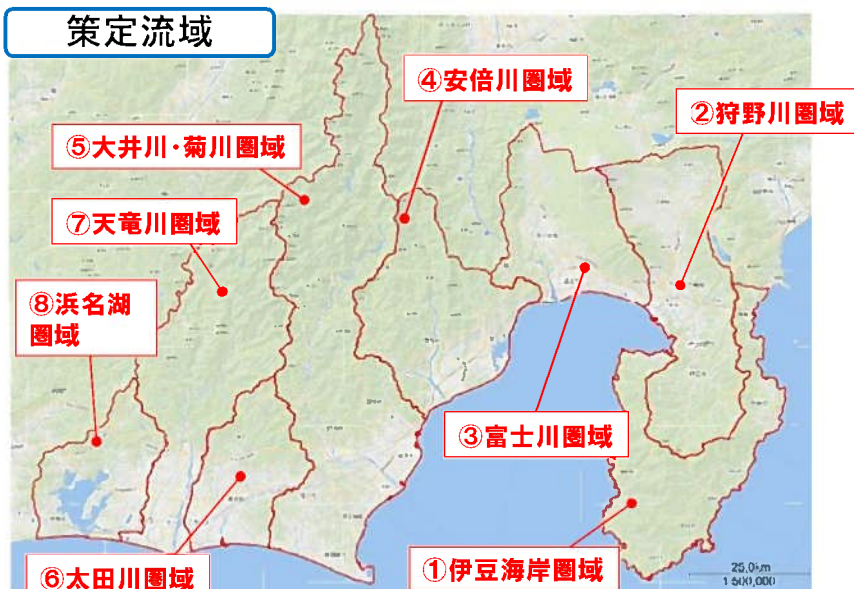
4 結論

審議項目	考え方
(1) 計画の構成	流域水循環計画の趣旨を踏まえ、計画の構成は下表のとおりとする。

表：計画の構成

1	現状と課題
2	理念や将来目指すべき姿
3	健全な水循環の維持又は回復に関する目標
4	目標を達成するために実施する施策
5	健全な水循環の状態や計画の進捗状況を表す指標

審議項目	考え方
(2) 策定流域の設定	<ul style="list-style-type: none"> 一級河川や主要な二級河川の水系を中心とした複数の河川を包含する地域を基本単位とする。 自然の状況だけでなく、地下水の規制地域や農業用水等の利用範囲等の人の活動による水の利用状況も考慮する。



審議項目	考え方
(3) 計画の策定順	圏域の現状及び傾向を評価する指標を点数化した上で、流域の課題を加味して評価する。

評価方法

【緊急性】	=	【基礎点】 現状・傾向	-	【課題点】 流域の課題
【基礎点】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「水質、水量、災害・治水、自然環境、暮らし」の5分野において、圏域の現状及び傾向を評価する指標を選定 ・ 指標を数値化し、5段階（20点～100点）に分けて点数化 ・ 5分野については、同等の重みづけをして評価 			
【課題点】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域の課題を1課題当たり10点として点数化 ※全圏域共通の課題及び基礎点で評価した課題は対象外 			
【緊急性】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎点から課題点を減点し、総合点が低い圏域を緊急性が高い圏域と評価 			

評価する指標

分類	項目	緊急性を評価する指標
水質	表流水	公共用水域におけるBOD等環境基準の達成地点の割合、水質悪化地点数
	地下水	塩水化していない観測井の割合
水量	湧水	取水制限日数
	地下水	利用量に対する涵養量が少ない地域の面積、届出揚水設備数
災害・治水	災害	土砂災害発生件数、被災家屋棟数
	整備	土砂災害危険箇所整備率、県管理河川整備率
自然環境	植物	植生が残っている地目等の評価
	生物	レッドデータブックに記載されている絶滅の恐れがある種数
	湧水	湧水把握地点数の変化
	開発	地域森林計画対象森林面積の変化
暮らし	下水道	汚水処理人口普及率
	流域の活動	リバーフレンドシップの協定締結数、多面的機能支払交付金活動面積
	水循環	雨水・再生水利用施設数

評価に加味する流域の課題

分類	流域の課題	伊海 豆岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川 ・菊川	太田川	天竜川	浜名湖
水質	河川やダムの上りによる水産資源等への影響			○		○	○	○	
水量	気候変動等による河川の渇水・瀬切れの増加やそれに伴う水利調整			○	○	○	○	○	○
災害・治水	気候変動に伴う水害の激甚化	○	○	○	○	○	○	○	○
自然環境	森林の荒廃による水源涵養機能の低下及び荒廃森林の再生	○	○	○	○	○	○	○	○
	河川から排出された流草木による漁業被害及び魚道の改修	○	○	○	○	○	○	○	○
	名勝・史跡・天然記念物等の保全(柿田川・富士山・白糸ノ滝・南アルプス・浜名湖)		○	○		○			○
暮らし	森林の大切さや森づくりに対する県民理解の促進	○	○	○	○	○	○	○	○
	リニア中央新幹線建設に伴う水資源への影響					○	○		
	湖沼における水産資源減少に伴う漁業経営への影響								○

参考：緊急性の評価結果

※点数が低い ⇒ 緊急性が高い

区分	伊海 豆岸	狩野川	富士川	安倍川	大井川 ・菊川	太田川	天竜川	浜名湖
【基礎点】 現状・傾向	374	400	299	357	310	288	364	246
【課題点】 流域の課題等	0	10	20	10	20	10	0	20
【緊急性】	374	390	279	347	290	278	364	226
策定順	7	8	3	5	4	2	6	1

※全圏域共通の課題及び基礎点で評価した課題は、課題点の算定に使用しない

審議項目	考え方
(4) 計画策定に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none">・ 指標の設定 緊急性評価指標及び課題を評価できる指標の中から、計画の進捗状況を表すのに適した指標を選択・ 利水者の意見の考慮 流域の範囲を越えて水を利用している場合は、その利水者の意見を考慮